

三 田 市 様

可 燃 ご み 質 調 査 分 析 業 務

平成29年3月28日

計量証明事業所 兵庫県知事登録計証第濃37号  
**ダイワエンジニアリング 株式会社**

**播 磨 分 析 セ ン タ ー**

〒675-0163 兵庫県加古郡播磨町古宮877

TEL 078-943-7255  
FAX 078-943-7575

## 1. 目的

以前、市が保有した家庭系可燃ごみ組成に関する情報は、クリーンセンターに搬入された段階のごみ及び地域を特定しないかたちで採取したごみを対象としたもので、地域単位のごみ排出管理状況や資源物の分別状況が不明であった。

そこで、平成21年度に実施した地域単位での可燃ごみ質調査分析を継続して行うことで、進捗・経過のデータを収集し、きめ細かなごみ減量化・資源化の推進を図るため、今般、当該調査分析業務を行う。

## 2. 調査場所

所在地：三田市香下1676番地

施設名称：三田市クリーンセンター

## 3. 調査対象地区及び採取日

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1) 三田地区      | : 平成29年2月6日    |
| 2) 三輪・友が丘地区  | : 平成29年2月7日、8日 |
| 3) 広野地区      | : 平成29年2月6日    |
| 4) 小野地区      | : 平成29年2月7日    |
| 5) 高平地区      | : 平成29年2月9日    |
| 6) 藍・つつじが丘地区 | : 平成29年2月7日、8日 |
| 7) 本庄地区      | : 平成29年2月10日   |
| 8) フラワータウン   | : 平成29年2月9日    |
| 9) ウッディタウン   | : 平成29年2月10日   |
| 10) 学園地区     | : 平成29年2月8日    |

## 4. 調査内容

三田市内において排出された、地区単位ごとの家庭系可燃ごみの調査を行った。  
分析項目等詳細は、別紙1のとおりとした。

## 5. 分析方法

各調査対象地区より試料200kg以上(40袋程度)を収集し、袋ごとの重量及び個数を計量記録する。

目につく大きな廃棄物、資源化対象の新聞広告、雑誌類等を取り出しながら、全袋を破袋し、十分混合しつつ、四分法により数回縮分し、試料として20kgを採取する。

縮分後の試料を別紙1の組成品目に従い仕分け分類を行い秤量し、重量比(%)及び容積比(%)を求める。

## 6. 調査結果

### 6-1. 可燃ごみ質調査全地区一覧

- (1) 試料重量一覧表
- (2) 試料重量比組成割合・・・一覧表 及び 図1

### 6-2. 可燃ごみ質調査地区 個別詳細

- (1) 試料調査記録
- (2) 採取量
- (3) 組成割合・・・・・・・・・・一覧表 及び 図2～12

### 6-3. 可燃ごみ質調査地区 重量比組成割合年度間比較

- (1) 組成割合・・・・・・・・・・ 図13～23

別紙1 分析項目一覧表

湿ベース組成品目		備考
紙類	新聞・折込チラシ(資源化可能なもの)	
	雑誌・本・書籍(資源化可能なもの)	
	ダンボール(資源化可能なもの)	
	紙パック・ノート・その他(資源化可能なもの)	その他は封筒、菓子箱、包装紙、コピー用紙、カタログ、電話帳等
	資源化できない紙類	アルミ箔パック類、紙オムツ類、キッチンタオル等衛生用紙、使い捨て紙類等
布類		
ゴム・皮革類		皮製のかばん、くつ、ゴム長靴等
容器包装プラスチック類		ボトル類、チューブ類、ポリ袋・ラップ類、網・ネット類、ふた・キャップ類、トレイ類、緩衝材等
その他プラスチック類		
木・竹・わら・草類		剪定枝、刈草、枯葉、木製品、竹串等
厨芥類	厨芥類	
	未利用食品	
その他の可燃ごみ		上記以外の可燃ごみ
不燃ごみ類		
調査対象外		
指定袋		三田市指定ごみ袋